

認可保育園増も、 なぜ待機児童は 減らない



玉城 勇 議員

答 出生増や子育て世代の転入が原因である

問 小規模の認可保育を60人、90人の認可保育園に移行することは可能か。

副町長 小規模保育園で受け入れている2歳児については保育の継続という観点から優先的に認可保育園へ入れるように入所している。本年度も全員

問 本町の小規模認可保育園を卒園する3歳児の受け入れ先は確保されているか。

民生部長 本年度は4月1日時点で保育士が4園で8人不足している。保育士不足により28人の児童を受け入れることができず、現時点でも保育士8人が採用できていない。

問 保育士の不足により園によっては定員割れはないか。

副町長 本町の特徴として、出生や子育て世代の転入が多いことが挙げられる。

問 本町の待機児童数が昨年度とほぼ同数と思われる。減らない理由は何か。

一般質問 玉城 勇 議員

保健福祉課長 地域のミニデイサービスの参加者が回数、利用者数も年々増えている。

問 ひとり暮らし高齢者の割合が増えている。男性で13.3%、女性では21.1%である。人生の後半で生き生きと楽しく生活できる状況をつくるのが行政だと思う。どれだけの町民が満足していると思うか。

副町長 健康づくり事業、介護予防、日常生活支援総合事業、生きがいふれあい活動等に社協や地域と連携し取り組んでいる。

問 高齢者が健康で生き生きと生活を送るためにどのような取り組みがあるか。

**高年齢者の生活を
どう保障していくか**

民生部長 小規模保育園から新たに60人、90人規模の認可保育園への移行は要件を満たせば可能である。

問 本町の地域ごとの高齢化率はどうなっているか。

副町長 次表参照



▲外出支援サービスを利用し、ミニデイサービスへ参加できます。

与那覇	17.6	津嘉山	12.7
宮城	27	山川	23
大名	23.8	神里	30
新川	18	兼本ハイツ	45.8
宮平(慶原含)	15.1	第一団地	32
兼城	15.9	第二団地	28.4
本部	13.8	東新川	10.9
喜屋武	22.8	北丘ハイツ	33.7
照屋	14.8	宮平ハイツ	8.4
		全体	16.3

平成30年6月1日現在(東新川は平成29年10月1日現在)(%)